

クラス番号	610	担当教員名	高藤 真弓
テーマ	ソーシャルワークの視点からとらえる高齢期の生活課題 - コミュニティケアと医療・福祉専門職間ネットワークを中心に -		
著書・論文 研究課題等	研究課題：高齢期の社会的孤立の解消のためのソーシャルワーク方法論 医療・福祉分野における多職種連携システムモデルの開発 論文：「ケアマネジメントにおけるネットワーキングの意義～研究会方式による実践事例を通して」（共著）日本福祉大学社会福祉論集（126），2012年		

ゼミナール概要

キーワード：コミュニティソーシャルワーク 高齢者の社会的孤立 多職種連携 フィールドワーク

1) 目的と内容

私たちが今は当たり前のように行っている「暮らし」には、高齢期になるとどのような困難が生じてくるのでしょうか。高齢者の暮らしを支えるために、家族や地域社会が担っている役割と、保健・医療・福祉・介護専門職の果たす役割について、生活体験やフィールドワークから学び、考えていきます。

みなさんが社会に出て就労したとき、仕事を通して様々な課題にぶつかることになります。対象者支援はもちろん、組織や地域社会の中で課題と向き合い、解消していくために、ソーシャルワーカーという専門職の特有の視点を持ち、考えるちからを身につけていくことを目的にしています。

2) 授業計画

- ① 3年次のゼミの前半では、高齢者の暮らしと課題について、テキストや新聞記事等をもとに、話し合いやグループ学習を行いながら考えていきます。また暮らしの成り立ちについて体験的に学ぶために、1人暮らし高齢者との交流会をはじめとしたフィールドワークを行います。
- ② 3年次の後半には、フィールドワークと社会福祉士実習体験などをもとにして、高齢期の生活課題について皆さんが感じた興味関心を深めるために、資料や文献を集めてレポートを作成していきます。高齢者と家族、地域社会、社会サービスなど、研究テーマはみなさん一人ひとりの関心に合わせて設定します。全員が卒業研究を行い、論文を作成することになっています。
- ③ 4年次の前半は、研究テーマに合わせたフィールドワークと調査を行い、卒業論文を執筆します。卒業論文の完成は10月末を予定しています。提出後は、社会福祉士国家試験の突破に向けて受験対策を行います。

3) フィールドワークの方法と対象地

- ① 名古屋市 M 区における一人暮らし高齢者の方々との交流活動
一人暮らし高齢者と民生委員の方々に協力を得て、お食事会を年間2回程度行っています。地域社会でくらししている高齢者の方々とお会いし、レクリエーション活動をとおして高齢者の地域生活と課題に関する理解を深めていきます。
- ② 尾北医師会地域ケア協力センターにおけるコミュニティケアシステムの理解
私の本務先は丹羽郡大口町の尾北医師会地域ケア協力センターで、医療と福祉領域に関わるソーシャルワーカーとして勤務しています。コミュニティを基盤とした専門職間ネットワークの構築に関する実践活動について、研修や事例検討会への参加をとおして理解を深めていきます。

4) 留意事項

ゼミ開講日以外にも年間数回ほどフィールドワークや調査を行います。基本的に全員の方に参加していただきますのでご了承ください。

担当教員からのメッセージ



ゼミ生のみなさんには「自分の頭で考え、自分の言葉で表現する」ことを学んでほしいので、好奇心を大切に、体験から考える苦しみと楽しさを知ってもらいたいと思います。2011～2012年度は、東日本大震災の被災地を訪問したり、クリスマス会などのイベントを実施しています。大学生活の中心とは大いに学び、大いに遊ぶことであり、これは自分をゆたかにしていくためにとっても大切なことです。私の遊びは旅と読書と音楽で、おいしいお酒や食事を楽しみながらお話をすることが大好きです。実り多い時間をともに過ごしましょう。